

◆診療方針

消化器内科は消化器疾患全般について診療しております。

消化管疾患については、早期胃癌、大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を積極的に行い、大腸ポリープの内視鏡治療(EMR・ポリペクトミー)の件数も増加しております。粘膜下腫瘍などに対する腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)も行っております。消化管癌に対する化学療法、緊急疾患として、出血性潰瘍や食道・胃静脈瘤治療、イレウスドレナージ治療、腸捻転治療などを行っております。経皮経食道胃管挿入(PTEG)は、三重県下で最も多い症例の対応を行っております。

胆膵疾患については、総胆管結石に対する内視鏡治療、悪性腫瘍に対するステント留置、胆嚢炎に対するドレナージ治療などを行っております。膵癌・胆管癌症例に対する化学療法症例も増加傾向となっております。

肝疾患については、様々な肝疾患に対し積極的に肝生検を行い診断し、加療しています。B型あるいはC型肝炎ウイルスによる慢性肝炎、肝硬変に対する抗ウイルス療法を行っております。超音波検査にて肝硬度および肝脂肪化を定量的に評価し、診療に役立てています。肝細胞癌の治療では、ラジオ波焼灼療法をはじめとする局所治療、分子標的薬治療、放射線治療などを組み合わせて集学的治療を行っております。

病院の機能向上の取り組みが続いており、陰圧手術室の拡張や放射線治療機器の更新などにより、消化器診療のさらなる発展に寄与していくと考えます。内視鏡スコープ・光源の更新も進んでおり、最新の機器環境にて診療にあたっております。

◆主疾患を含む治療性成績

2024 年 消化器科入院診療実績

疾患名	事例数	疾患名	事例数
肝癌	39	胃腸炎	85
食道癌	5	消化管出血	44
胃癌	54	腸閉塞	45
十二指腸・小腸癌	3	肝炎	20
大腸癌	36	肝硬変・肝不全	12
胆道癌	16	胆石症・胆道炎	156
膵癌	38	膵炎	19
胃ポリープ	5	その他の消化器疾患	42
大腸ポリープ	129	その他	286
胃・食道静脈瘤	20	総数	1,116
胃・十二指腸潰瘍	40		

◆主疾患治療プロトコール

大腸ポリープ内視鏡治療クリニカルパス
早期胃癌、早期大腸癌内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)クリニカルパス
肝癌に対する肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼療法クリニカルパス
食道静脈瘤内視鏡的治療クリニカルパス
肝生検クリニカルパス
経皮的ドレナージクリニカルパス
超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診(EUS-FNA)クリニカルパス
内視鏡的胃瘻造設術クリニカルパス
などがあります。

◆その他

2024 年 消化器検査および治療施行数 (下記は当院全体の施行数です)

疾患名	事例数
上部消化管内視鏡	1,661 例
上部拡大内視鏡	151 例
経鼻内視鏡	139 例
超音波内視鏡(上部消化管)	27 例
上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	24 例
上部消化管内視鏡的ポリープ切除術	5 例
食道静脈瘤結紮術(EVL)/硬化療法(EIS)	14 例/ 7 例
上部消化管内視鏡的止血術	86 例
内視鏡的上部消化管ステント挿入術	5 例
内視鏡的胃瘻造設術(PEG)	31 例
経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	4 例
下部消化管内視鏡	1,275 例
下部拡大内視鏡	30 例
下部消化管内視鏡的ポリープ切除術	516 例
下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	9 例
内視鏡的下部消化管ステント挿入術	7 例
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	143 例
内視鏡的胆道ドレナージ(ENBD/ERBD)	3 例/ 49 例
内視鏡的総胆管結石除去術(EST/EPBD)	70 例/ 12 例
内視鏡的胆管ステント挿入術	7 例
超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診(EUS-FNA)	33 例
カプセル内視鏡(小腸/大腸)	3 例/ 0 例
肝動脈塞栓療法 (TAE・TAI)	8 例
肝腫瘍ラジオ波焼灼術(CT・エコーガイド下)	7 例
B-RTO	1 例